

令和5年度 第1回ナセBA運営協議会議事録

1. 開催日時

令和5年8月2日(水) 午後3時～午後5時

2. 開催場所

ナセBA1階・体験学習室

3. 出席者（9名出席）

(委員)

我妻 仁(会長)、北口 己津子(副会長)

太田 和広、阿部 好弘、西山 まなみ、下嶋 恵美、佐藤 繁、白田 静雄、吉澤 恭子

(事務局)

種村 信次、渡部 洋己、設楽 由加利、青木 昭博、遠藤 朋香、齊藤 かおり、福石 敏史、
花田 美穂

4. 開会(事務局)

開会にあたり、阿部好弘新委員(山形県立米沢東高等学校長)に委嘱状を交付。

5. 理事長挨拶

本日は各委員ともご多忙のなか、また、酷暑のなか参集いただき感謝申し上げます。この運営協議会は、ナセ BA の運営について、外部からの視点で様々な所見を頂き、その改善に繋げていくという趣旨で開催するものです。本日は、令和 4 年度の事業報告と、令和 5 年度の事業計画につき説明を申し上げ、委員の皆様からご意見を頂戴していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

まず初めに、新型コロナウイルス感染症への対応について申し上げます。2023 年 5 月 8 日より、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、2類から 5 類に移行したことに伴い、施設の利用制限は大きく緩和されましたが、引き続き感染症対策を実施しつつ、運営を行っております。

令和 4 年度の図書館の利用状況は、令和3年度に比して図書館の来館者数が微増、貸出点数が微減となっています。今日、コロナ禍を経て、市民が「内向き」から「外向き」になりつつあるように見受けられますので、令和 5 年度は来館者数に加え、貸出利用点数を増やすのが課題と感じているところです。

今年度、ナセ BA は設楽新館長のもとでチームワークを発揮し、図書館、ギャラリー、先人顕彰コーナー、体験学習室等の管理、諸事業の計画・実施をもって、誠実に指定管理者の責務を果たし、市民の皆様喜んでいただける施設として運営してまいりたいと思ひます。市民に愛さ

れ、必要とされる施設として、所期の目的をしっかりと果たすよう職員一同努めますので、引き続きご指導のお願いを申し上げます。

6. 我妻会長挨拶

本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

学校の夏休み期間、または休み前の最後の試験期間中ということで、繁忙期という表現は適切でないかもしれませんが、多くの方に図書館を利用していただいているように見受けられ、夏は図書館の季節だなというのをつくづく感じたところです。職員の方は忙しい中、暑い中大変だと思いますが、ご対応をよろしくお願いいたします。

理事長の挨拶にもあった通り、よりよい取り組みをしていくためには、様々な角度・観点から意見を出し合っていて、その中から優れた指摘を運営の改善に結びつけていくということが大事なので、忌憚のない意見を出していただき、有意義な協議会となれと思います。よろしくお願いいたします。

7. 協議

(1) 令和4年度事業報告及び事業評価について

青木副館長より令和4年度事業報告、渡部事務局長より令和4年度事業評価について、それぞれ【資料 1】【資料 2】により説明。

なお、事業評価については、令和4年度分から、より客観的な評価指標として、KPI に基づく方式を採用した。

(委員)

薬剤ではなく、IPM(総合的病虫害管理)方式による環境対策を行っていることを評価したい。SDGs の観点からも好ましい取組みと思う。

すべての図書館資料を IPM 方式で管理しているのか？また、アートソープ(調湿保存剤)はどのようなケースで使用しているのか？

(事務局)

貴重書庫内の資料を IPM 方式で管理しているが、虫害の発生件数はゼロではない。

また、2016 年の新館開館以来、貴重書庫の燻蒸を 2 回実施しているほか、郷土資料部門で新規に受入した資料について、米沢市上杉博物館と合同での燻蒸を行ったケースもある。アートソープは先人顕彰コーナーでの資料展示の際に使用している。

(委員)

令和4年度の新規購入資料 9,170 点という数値の多寡は、令和 3 年度以前と比べてどうなのか？

(事務局)

図書購入費自体は、令和 2 年度から令和 5 年度まで 1800 万円で変化なし。

(委員)

事業評価にあった「蔵書回転率」について説明を求めたい。

(事務局)

蔵書回転率は、貸出点数を全蔵書数で除したもので、図書館の所蔵資料がどの程度利用されているかを計測するための指数として使われる。

(委員)

事業評価で、「ユニバーサルサービス」が「C」になっている点について説明を求めたい。

また、図書館のような社会教育施設を、使用したくてもできないような層に向けたアウトリーチサービス(サービスを提供する側からの働きかけ)やインクルージョン(社会的包摂)に関する具体的な取組みについて伺いたい。

(事務局)

評価指標の値自体は、KPI 指標を「情報発信回数」とし、この数値が低調だったことに起因するもので、指標の設定自体に再考の余地があるものと考えている。

図書館におけるユニバーサルサービスについては、その在り方について模索中であり、資料選定(LL ブックや大活字図書など)や、専門のコーナーの構築について取り組んでいるところである。アウトリーチサービスについては、自動車文庫について、教育機関・福祉施設・医療機関・行政機関などへの巡回先の拡充を検討している。

(2) 令和5年度の主な事業について

設楽館長より、令和4年度の図書館利用状況および貸出利用者の傾向についての【資料 3】による説明と、これを踏まえた令和5年度図書館運営重点目標と選書方針についての【資料4】および【資料 5】による説明。

青木副館長より令和 5 年度の事業計画について、【資料 6】による説明。

(委員)

個人的にティーンズコーナーを利用したことがあり、「ティーンズコーナーだより」も参考になったが、中高生の子どもがいる保護者に向けたアプローチもあってよいのではないかな。また、閲覧席を利用する中高生への PR が効果的ではないかな。

(事務局)

言及して頂いた「ティーンズコーナーだより」の他、高校生が作成に協力してくれた POP による PR も行っている。閲覧席については、利用者の集中の妨げにならないよう、告知物は最小限にしているが、閲覧席を利用しに来館する中高生の動線上に展開する効果的な周

知の方法については苦慮しているところで、PR のやり方は今後の課題。

(委員)

喫食可能なスペースが今後必要になってくるのではないか。

(事務局)

7 月 28 日より、旧「さくらカフェ」跡地のスペースを飲食可能なコーナーとして設定した。

(委員)

ギャラリーの「植物学者 清水大典展」について、放送メディアで日本の植物学者への注目が高まっていることもあり、時宜を得た企画と思う。楽しみにしている。図書館の利用への呼び水になる効果も期待したい。

コロナ禍前、園児がその保護者と一緒にナセ BA を訪問し、図書館を利用するという体験に加えて、読みきかせ等も実施するといった取組みを行っていた。今後このような取組みが再開できるようであれば、市内の幼・保・こども園のネットワークで情報を共有したい。

幼児教育に携わっていると、子どもは昆虫や草花の名前をよく知りたがる。そのような疑問も、図書館で図鑑などのいわゆる「ちしきの本」を参照することで解決でき、また、更に興味を広げていくこともできる。このような点からも、改めて図書館があることの重要性を感じる。

(事務局)

現在、おはなしのへやは、空気清浄機の導入による感染症対策を実施の上、利用を再開している。読みきかせの実演などを伴う児童の訪問・見学としては、6 月に県立米沢養護学校の児童を受入しており、今後も打診があれば前向きに検討したい。なお、人数によっては、開館前の時間に来館していただくように調整をお願いする場合もある。

(委員)

図書館の特集コーナー、毎回見応えがあると感じている。また、米短生のアルバイト就労を受け入れていただき、一種のインターンシップにもなっていると思う。

蔵書点検で所在が不明となっている図書について、令和 4 年度は 34 点と伺った。市の備品の管理にかかわる件であると言えると思うが、紛失届の提出などはしているのか？

(事務局)

蔵書点検不明資料の 34 点という数字は、全体の蔵書数約 34 万点から見ればごく微細で、かつ、所在不明になった経緯に事件性などは認められないため、そのような対応は執っていない。

(委員)

貸出サービスを利用する図書館利用者の、年代別・性別の傾向に関する資料を興味深く参照した。性差による区分を無批判に前提にすることは控えなければならないと思うが、

資料を見る限り、子どもの利用者とその母親にあたる保護者については、図書館を利用するサイクルが定着している世帯が一定数までである一方、父親にあたる保護者については必ずしもそうになっていないように見受けられる。例えば、男性の声での読みきかせがより適していると思われるキャラクターが登場するような絵本を PR するようなアプローチも考えられるのではないかと。図書館の特集コーナー等における展示のアイディアはいつも素晴らしいと感じているので、今後に期待したい。

(事務局)

子育て世代の利用者に対するアプローチとして、保護者に興味を持ってもらえるような資料を子どもの本の書架の近くで展開させるようなやり方もあると思うが、今後の課題とさせていただきます。

また、米沢市子育て世代活動支援センター「アクティー米沢」内にオープンする屋内遊戯施設「くても」との連携を計画している。

(3)図書館サービスの向上について

(4)これからのナセ BA に期待すること

(委員)

ギャラリーと図書館が互恵的な関係となり、双方の利用がより拡充していくことを期待したい。

(委員)

「ランチマップ」の取組みへの協力に感謝する。ナセBAが中心市街地に立地していることは重要で、その活性化への寄与に期待する。

子どもの読書活動推進の取組みにも期待したい。

今後も地元商店街との連携を模索していきたい(ポイントシステム等)。

(委員)

おはなしのへやの利用再開は喜ばしい。

「わっさまるしえ」等のイベント事業との連携は効果を上げていると感じている。

いま保護者に連れられて来ている子どもの利用者が中高生になった時、自発的に利用するようになるかが鍵になると思う。この世代にとっても憩いの場となって欲しい。

(委員)

ハンディキャップがある方に向けた図書館サービスについて、当事者の意見を聴く機会は目下のところあるのか知りたい。

また、除籍資料について、学童などでの活用はできないか。

(事務局)

先日、中堅教諭等資質向上研修として、米沢養護学校高等部の教員の方が図書館で研修を

行う機会があり、ハンディキャップサービスについて意見交換の場を設けることができた。このような繋がりができたので、引き続き連携を模索していきたい。現在把握している課題としては、障がいのある子どもの利用者や、まだ幼い子どもの利用者が大きな声や泣き声を出してしまうことを、保護者の側がたいへん気にされているように見受けられることが挙げられる。この方たちが気兼ねなく図書館を利用していただけるようにするにはどうしたらよいか考えていきたい。

除籍資料については、図書館の蔵書は市の備品であるため、除籍後の取扱いにも制約があるので、市の担当部局とも協議をしていきたい。

(委員)

リニューアルオープンした長井市立図書館も、ナセ BA と同様、複合文化施設ということで注目しているところ。

絵本作家の中川ひろたか氏が運営しているブックカフェ「SONG BOOK Café」(神奈川県鎌倉市)などの情報を耳にすると、「心の憩いの場」としての図書館を考えると、カフェのようなスペースはやはりあるべきと考える。ただ、カフェが撤退した後も、飲食可能スペースの設置など、可能な範囲でできる限りの対応をしているように見受けられ、その努力を評価したい。

今現在ここにある米沢市の図書館として、できることを精一杯して欲しい。

(委員)

今年度から委員となり、自身は山形市からの通勤であるが、大学で「米沢織と地域経済」を卒業論文のテーマにしたことなどもあって、米沢とのゆかりを感じている。

米沢東高校はナセ BA に近いこともあり、多くの生徒が利用している由で、図書館の存在は有難いと思う。先日、中学生向けのオープンスクールを開催したが、その中で、「ナセ BA に近い」ことが学校のアピールポイントの一つになっていた。

ただし、東高生徒を含む中高生の貸出利用が伸び悩んでいるとのことで、学校図書館との連携にも期待したい。

また、近年の学校教育のカリキュラムでは、地域社会との連携が重視されている。図書館、博物館やその他の社会教育施設と学校が連携し、地域社会で蓄積された知見を教育に活かして、双方にとって Win-Win の関係になっていくことを望む。

(委員)

先日の第 1 回学校図書館部会への協力に感謝したい。

また現在、北部小学校の学校図書館がリニューアル中であり、図書館の司書から、図書の見せ方、複本の取扱い、廃棄する図書についてなど、様々なアドバイスを受けた。図書館のノウハウで学校図書館の運営にも適用が可能な部分は取り入れていき、このような部門でも学校と図書館の連携ができればと考える。

(委員)

職員のアイデアが発揮されて、楽しい図書館になっていると感じる。

アウトリーチサービスについて、様々な制約はあると思うが、自動車文庫アタゴオルによる市内小学校全校への巡回も検討されるべきと考える。

また、電子図書館の導入についても検討を始めて欲しい。特に、センシティブなテーマについての本にアクセスするハードルが低くなると思う。

(委員)

飲食可能スペースの説明があったが、やはり将来におけるカフェの復活にも期待したい。

村山市の「みんなでハッピーレージ事業」では、貯めたポイントに応じて、地元の店舗でサービスが受けられるという特典を設けている。地元商店街、及びナセ BA でもこのような取組みがあればと思う。

「新聞の書評に掲載された本」のコーナーの設置を評価したい。

中高生の利用促進に関連して、受験対策の観点から、また、出題された文章を読んで純粋に興味を持った人に向けた「入試に出た本」のコーナーなどは如何か。

(5)その他

市民ギャラリー自主事業に関する運営協議会委員への外部評価の依頼

8. 閉会(図書館長)

お忙しい中、貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。委員の皆様は、図書館の一番身近な応援団だと感じています。

開館以来 114 年間、先人たちが営々と積み上げてきた業績を受け継ぎ、図書館をより良くしていくため、図書館の外部からの様々なご意見をいつでも受け付けていきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

(以上)